

1. 感染状況

避難元自治体

2020年6月1日時点

	(1)PAZ・UPZ内市町村名	(2)感染者数	(3)公表・非公表
例	□□市	1	□□市で公表済
	高島市	1	高島市で公表済
	合計	1	

避難先自治体

2020年6月1日時点（大阪府自治体は2020年6月17日時点）

	(1)PAZ・UPZ内市町村名	(2)感染者数	(3)公表・非公表
例	□□市	1	□□市で公表済
	高島市（県内避難先）	1	高島市で公表済
	大阪市（県外避難先）	15	大阪府で公表済
	高槻市（県外避難先）	0	高槻市で公表済
	枚方市（県外避難先）	0	枚方市で公表済
	合計	16	

（備考）

・道府県外避難先がある場合は、それも含む。

2. 備蓄状況

(備蓄の現状)

2020年6月1日時点

	(1)PAZ・UPZ自治体名	(2)品目名	(3)個数(人分)	(4)備蓄場所
例	●●町	アルコール消毒液(300ml)	300	●●町
例	■■市	マスク	500	■■市
	高島市	アルコール消毒液(5ml)	60,000	高島市
		マスク	40,000	高島市
	合計		100,000	

(今後の備蓄予定)

2020年6月1日時点

	(1)PAZ・UPZ自治体名	(2)品目名	(3)個数(人分)	(4)備蓄場所
例	●●町	アルコール消毒液(300ml)	300	●●町
例	■■市	マスク	500	■■町
	高島市	マスク	90,000	高島市
	合計		90,000	

(備考)

・調査品目は、今般のような感染症流行下において、原子力災害が発生した場合に、感染症予防対策として使用することができる衛生管理資機材(マスク、消毒液等)を対象とします。

・個数(人分)は、避難元から避難先に行く1回の行程で、成人が使用する量を1人分の目安とします。

(厳密な数字を記載頂く必要は必ずしもありませんが、現実的な数字を記載下さい。)

・市町村に限らず、道府県が避難元市町村の避難に活用できる衛生管理資機材を備蓄している、またはこれからする場合は、前広に記載して下さい。

3. 医療機関

2020年6月1日時点

医療機関名	(1)所在地		(2)放射線防護対策施設		(3)原子力災害拠点病院	(4)原子力災害医療協力機関	(5)第一種感染症指定医療機関		(6)第二種感染症指定医療機関		(7)感染症協力医療機関		(8)今般のコロナ流行下での	(9)感染症医療機関がPAZ・UPZ内にある場合、
	PAZ	UPZ	該当	収容人数	該当	該当	該当	病床数（総計）	該当	病床数（総計）	該当	病床数（総計）	入院者数（実績）	どのように対応しているか。
例 ★★病院	—	●	●	100	—	●	—		●	10	—		1	患者がいた場合は、SE段階で◆病院（UPZ外）へ搬送する。
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(備考)
 ・調査対象は、PAZ・UPZ内に所在する、病床のある医療機関を対象として下さい。

4. 一時集合場所

2020年6月1日時点

	(1)PAZ・UPZ内市町村名	(2)一時集合場所名（又は住所）	(3)集合予定人数（R2.1.1現在）	(4)3密を防ぐ取り組みとして、どのように対応しているか。
例	□□市	○○公園	100	感染の疑いのある者は、それ以外の者と別の施設（××公民館）に集合してもらう。
	高島市	角川ヴィラ	131	感染の疑いのある者とそれ以外の者として一時集合場所を分ける。 もしくは、一時集合場所内でゾーニングする。
		ECC学園高等学校	45	
		朽木公民館	247	
		朽木西小学校	56	
合計		479		

（備考）

・道府県外避難先がある場合は、それも含む。

5. 避難車両

2020年6月1日時点

	車両形式		①原子力災害が単独で発災した場合				②感染症流行下で原子力災害が発災した場合				(5)感染症予防対策で実施予定の取り組みはあるか。 (例：乗車人数を半分にし間隔を空ける等)	(6)バス車両等が不足する場合、どのように輸送することを検討しているか。
			(1)乗車が必要な人数 (H31.4.1現在)	(2)必要台数	(3)確保台数	(4)乗車が可能な人数	(1)乗車が必要な人数 (H31.4.1現在)	(2)必要台数	(3)確保台数	(4)乗車が可能な人数		
PAZ	バス車両											
	福祉車両	車椅子用 ストレッチャー用										
UPZ	バス車両		497	30	438	7,446	497	30	438	7,446	①乗車人数は単独災害時でも1台あたり17人しか乗せないこと としているが、感染症流行下の場合は、さらに乗車人数を減らし、 間隔をより空ける。 ②感染者とそれ以外の者の車両を完全に分ける。 ①1台あたり1人しか乗せない、②車両内部を養生する ①1台あたり1人しか乗せない、②車両内部を養生する	関西広域連合や実動機関に支援を要請し、車両を確保する。
	福祉車両	車椅子用	27	27	257	257	27	27	257	257		
		ストレッチャー用	0	0	25	25	0	0	25	25		
合計			524	57	720	7728	524	57	720	7728		

6. 避難退域時検査場所

2020年6月1日時点

(1)検査予定のUPZ内市町村名	(2)避難退域時検査場所名(又は住所)	(3)検査予定人数(R2.1.1現在)	(4)3密を防ぐ取り組みとして、どのように対応することを検討しているか。
例 □□市	○○公園	1,000	感染者(軽症者等)は、その他の者と十分離れたところで、特別のレーンを設ける。
高島市	今津総合運動公園	479	感染者(軽症者等)は、検査時間等を分ける。
	朽木中学校(代替)	479	感染者(軽症者等)は、検査時間等を分ける。
合計		958	

(備考)

・道府県外避難先がある場合は、それも含む。

7. 避難先施設

2020年6月1日時点

(1)避難等が必要な住民数 R2.1.1現在	①原子力災害が単独で発災した場合						②感染症流行下で原子力災害が発災した場合						(8)避難先施設の収容人数が不足する場合、どのように確保することを検討しているか。
	道府県内避難			道府県外避難			道府県内避難			道府県外避難			
	避難先施設		(代替) 避難先施設	避難先施設		(代替) 避難先施設	避難先施設		(代替) 避難先施設	避難先施設		(代替) 避難先施設	
	(2)収容人数	(3)一人当たり㎡ (平均)	(4)収容人数	(5)一人当たり㎡ (平均)	(6)収容人数	(7)一人当たり㎡ (平均)	(2)収容人数	(3)一人当たり㎡ (平均)	(4)収容人数	(5)一人当たり㎡ (平均)	(6)収容人数	(7)一人当たり㎡ (平均)	
PAZ													
UPZ	479	1,144	—	—	364,445	3.3以上	1,144	3.3	—	—	364,445	3.3以上	【県内避難】 ・感染症対策を講じた（間仕切り・距離を取る等）上でも収容人数には余裕があるが、万が一不足する場合は受入に余裕のあるUPZ外の市内または県内他避難所等へ収容する。 【県外避難（大阪府）】 ・大阪府内に所在するホテルや旅館等の活用を検討 ・大阪府、国及び独立行政法人、民間団体等が所有する所管施設をはじめ研修所、宿泊施設、その他施設についてもリスト化を図り、活用できるよう検討
合計	479	1144	0		364445		1144		0		364445		